

デジタルの山をスケーリング

セキュリティで保護され、敏捷性に優れた効率的な組織への道

変革の波が押し寄せています。そこでお聞きしますが、あなたの組織はその波に乗る予定ですか?ビジネスのあり方を一変させるこの劇的なシフトを乗り切るには、最高のツールを使い、的を絞って費用をかける必要があります。組織のインフラストラクチャーに必要な極めて重要な構成要素は、ビジネス全体が混乱する中、さらに重要性を増しています。

3つの重要な構成要素であるセキュリティ、敏捷性、コストに対処することが、収益を加速度的に上げるか、ビジネスをやめるかの違いを生み出しています。新たな形のデジタル・ビジネスでは、白黒がはっきりします。波に乗るか、立ち止まったままになるかです。

Solitaire Interglobal Ltd. のチーム・システム・エンジニア、Kat Lind 氏

まとめ

3年後もビジネスを続けていたいのですか?これは、今日どの組織も直面している基本的な問いです。デジタル市場におけるビジネスの変革は今この瞬間に起こっており、急速に進んでいます。この新しい世界の基盤を受け入れる組織は、この機会を利用しています。受け入れない組織は、取り残されようとしています。セキュリティ、敏捷性、コストの重要性を理解することは非常に重要なことです。

セキュリティ – お客様の信頼を維持

お客様が企業に個人情報や渡してビジネスを遂行させるには、安心して個人情報を任せられる企業でなくてはなりません。この要因で失敗を犯すと、企業の評判は他のどの要因の場合よりも早く失墜します。買い手と売り手の間にある暗黙の契約への裏切りと解釈されます。

お客様の信頼を損なった影響とその後の売上を追跡し分析した結果、セキュリティ被害後の平均的な顧客減少率は41%に多大な額をかけて、信頼の地位を再び築く必要があります。このコストは、お客様を初めて獲得するときのコストにを超えました。その結果、直後および長期的な収益が落ちることになります。これらのお客様は二度と戻らないかもしれません。回復するには、サービス、機器、人件費比べて最大で18.6倍多くかかることがあります。つまり、ハッキングの餌食になると、ビジネスに多大な悪影響が生じるのです。

敏捷性 – 市場感応度

デジタル市場での成功を示す主な指標の1つは、世界の市場が直面している急速に変化する消費者に対応する能力です。消費者の需要に変化が生じた場合、市場シェアの拡大と高い収益を得る機会から収穫を得られるのは、最初に対応した企業であることがほとんどです。

企業がお客様に対応できる速さは、市場を確立して掌中に収める上で最もパワフルな威力となりました。もはや、大企業が小さい会社を圧倒するのではなく、最も対応力のある企業が競合他社を圧倒する時代になったのです。

コスト – 効率的な支出

企業がコスト基盤を変えるには、資本支出と運用費の両方に関するクリティカル・シンキングを再評価する必要があります。クラウドを多用した IT 展開では、インテリジェントなキャッシュ優先度の古い基準は有効ではなくなっています。

コスト抑制は何十年にもわたってビジネスで言われ続けたことですが、現在では、よりスマートで情報に基づくコスト管理が求められるようになってきています。問題は使った額ではなく、その額で何を得られたかです。

デジタル・ビジネスのソリューション

サイバースペースの混乱を正しくナビして潜在顧客を得るといふ、組織的な工程を築くための戦略を練って課題に対処するには、その工程に組み込む必要がある様々な構成要素を理解することが求められます。つまり、ビジネスとセキュリティの双方、およびそれらの相互作用に関する情報が必要です。

デジタル・ビジネスとセキュリティは密接に関連しているため、分析にはこれら 2 つの間の広範な相互関係を考慮する必要があります。Solitaire Interglobal Ltd. (SIL) は、市場進化と生産挙動のデータを 40 年以上も収集してきました。6,000 社以上の顧客をサポートし、毎年 1 億以上の予測モデルを実施してきた SIL は、過去 22 年間にわたって Global Security Watch (GSW) も運営してきました。そのメンバー・サービスにより、SIL は非常にきめ細かいレベルの 550 PB を超えるデータからなる保管場所を構築することができました。そのデータを毎時マイニングすることで、傾向、比較、しきい値の結果を出して企業の成功を支援しています。

顧客体験の回答、IT 運用の詳細、ビジネスの業績とセキュリティから得たデータを使用することで、SIL はデジタル・ビジネス市場における IBM LinuxONE の位置付けを調査しました。その調査結果をセキュリティ、敏捷性、コストの 3 つの領域に分類しました。これらの領域には、サイバースペースで運営する企業が最も重要と見なす主な目標が含まれています。

プラットフォームの重要性

ワシントン D.C. の連邦控訴裁判所は、個人データの保護に失敗した企業を訴えることができるという判決を下しました。EPIC は、「企業が合理的なセキュリティ対策への投資を怠った場合、消費者はデータ漏洩による被害に直面し続けることになる」と主張して、その訴訟で消費者を支援する法的助言書を提出しました。裁判所は、訴訟を棄却した下級裁判所は間違っているという EPIC の主張に同意しました。

電子プライバシー情報センター 「DC Circuit Upholds Right of Data Breach Victims to Seek Legal Relief」

2017 年 8 月 1 日

サイバービジネスの変化する性質はさらに流動的になっています。激化する変化、活発な攻撃、課題の多いリスク管理の役割のすべてが相まって、機会だけでなく危険をもたらします。

SIL が実施した分析の本来の目的は、プラットフォーム・アーキテクチャーを基に、サイバービジネスへの実世界の影響を調査することでした。その目的のため、x86、IBM のエンタープライズ Linux プラットフォーム (LinuxONE) など主要アーキテクチャーの比較が行われました。調査による重要な所見の一部を以下に紹介します。

早見表

カテゴリー	コメント	メリット
リスク	SIL リスク・プロファイルでは、LinuxOne プラットフォームのリスク評価を他のソリューションの 1/20 未満としています。	セキュリティ・リスクを大幅に軽減。

カテゴリー	コメント	メリット
セキュリティの有効性	初期インストールの場合、基盤のLinuxONE セキュリティ・ソリューションは他のプラットフォーム・ソリューションに比べて、最大で 15.74 倍高い 傍受レベルを実現します。	統合アプローチにより、最もセキュアなアプリケーション環境を体験。
セキュリティの有効性	LinuxONE の顧客は、他のアーキテクチャーに比べ有害な侵入率が、 1000 のアプリケーションにつき 0.01% 未満 だと報告しています。	競合他社よりも効果的なベース・セキュリティー・プラットフォームを展開。
スタッフ	LinuxONE 実装環境は他のアーキテクチャーの実装環境に比べて、 3.1 倍多くの 究極のベスト・プラクティスに従っています。	アップタイムとリソースを解放してイノベーションを推進。
市場投入までの期間	LinuxOne でシステムを立ち上げて稼働するまでにかかる平均的な時間は、最少で他のプラットフォームで要する時間の 35.3% だけで済んでいます。	システムを迅速に立ち上げて稼働。
柔軟性	LinuxONE 実装環境について報告されている平均的な回復力は、他の選択肢よりも最大で 7.41 倍高い 結果となっています。	予期しない処理量の急増にも容易に対処。
柔軟性	LinuxONE を稼働する顧客はエンドユーザーの要求に対し、他のプラットフォームで記録されているよりも最大 2 倍高い 一貫性で応答しています。	一貫した応答により、顧客体験を改善。
TCO (総保有コスト)	LinuxONE 実装環境は他のプラットフォームよりも最大で 82.12% 少ない TCO を実現します。	競合他社に比べて TCO を大幅に削減。
TCI (総情報コスト)	LinuxONE 実装環境は、幅広い企業規模で最大で 92.04% 少ない TCI を達成しています。	情報処理コストを削減。
スタッフ	他のアーキテクチャーに比べ、LinuxONE システムの稼働に必要な FTE の数を 61.07~88.05% 低減します。	少ない人員で多くの作業を処理。
リスクとコスト	LinuxONE 実装環境の場合、サイバー保険会社によって要求される財務上の蓄えは他のアーキテクチャーの選択肢に比べて、最少でわずか 3.2% です。	必要な資金の蓄えを軽減。

本分析の全体的な所見では、企業が自ら選んだコンピューター・アーキテクチャーに組み込まれていくことを考慮すると、産業界は大きな変化の波をかぶっているということが言えます。実世界の顧客体験から結論を出すと、IBM の LinuxOne はセキュリティ、敏捷性、コストのメリットを実現し、これらの考慮事項を満たす強力なプレーヤーです。

完全版を [ダウンロードして](#) 調査の所見全体をご覧ください。

66014266JPJA-00